

転職の自信がない、
28^{~39}歳のあなたへ。

未経験から
デザイナーを
仕事にする方法があります。

ただし条件がふたつ、あります。

1. 子供の頃、絵を描くのが楽しかった記憶があること。
2. 目標のために頑張れること

デザイナーに
なってみませんか？



28歳、事務職の女性の不安。

28歳というのは、社会人として仕事にも慣れ、自分の将来を考える心の余裕が出て来る頃です。そこで芽生える不安が「転職できる自信がない」ことです。

結婚や出産などのイベントを想像した時、引っ越しなど転職を余儀なくされる可能性もある中で、転職に自信がないことは大きな不安です。

営業職であれば数値で実績を見せることができるため転職についても大きな不安を感じる事が少ない職種です。一方で事務職は「自分だから達成できた」という実績が基本的には生まれることがない職種のため、転職の時にアピールできる強い武器がありません。特技、長所と言われても、特には思い浮かばない、というのが普通です。

リスクなしでデザイナーになる方法

デザイナーの職場、といえばデザイン事務所、広告代理店ぐらいしか思い浮かばないのが普通です。ところが実は意外に多くの普通の会社がデザイナーを雇っています。「社内デザイナー」という言い方をします。

99%の会社に名刺が必要なように、どんな会社でも何らかのデザイン業務は発生します。まずは今勤めている会社のデザイン業務を引き受けるところからスタートして、事例を蓄積していくと転職が必要になっても「デザインもできる事務職」という強力なアピールポイントで差別化できます。本人の希望次第では徐々にデザインをメインにする方向にシフトする、というキャリアプランも可能です。

ところが問題が一つあります。世の中の「デザインスクール」はデザイン事務所・広告代理店を想定した内容になってるものばかりで、「社内デザイナー」になる方法を教えてくれるところがありません。



眠る才能を仕事に生かす

ところが実は本人も忘れてしまっている強みがあります。「絵を描くのが好きだった」という記憶です。ある調査の結果では「自分は絵心があるほうだ」と思う人は全体の20%程度という結果が出ておりこれだけでもレアな特徴であることがわかります。絵を描くのが好きだった人はデザイナーに向いている可能性があります。ところが実際に事務職の28歳の女性がこれからデザインを勉強してデザイン事務所に転職する、というのはリスクが高く、現実的ではありません。諦めるしかないのでしょうか？

だから私が作ることにしました。

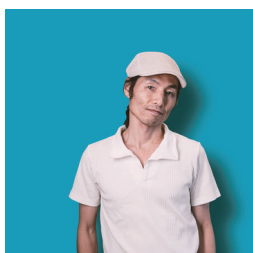
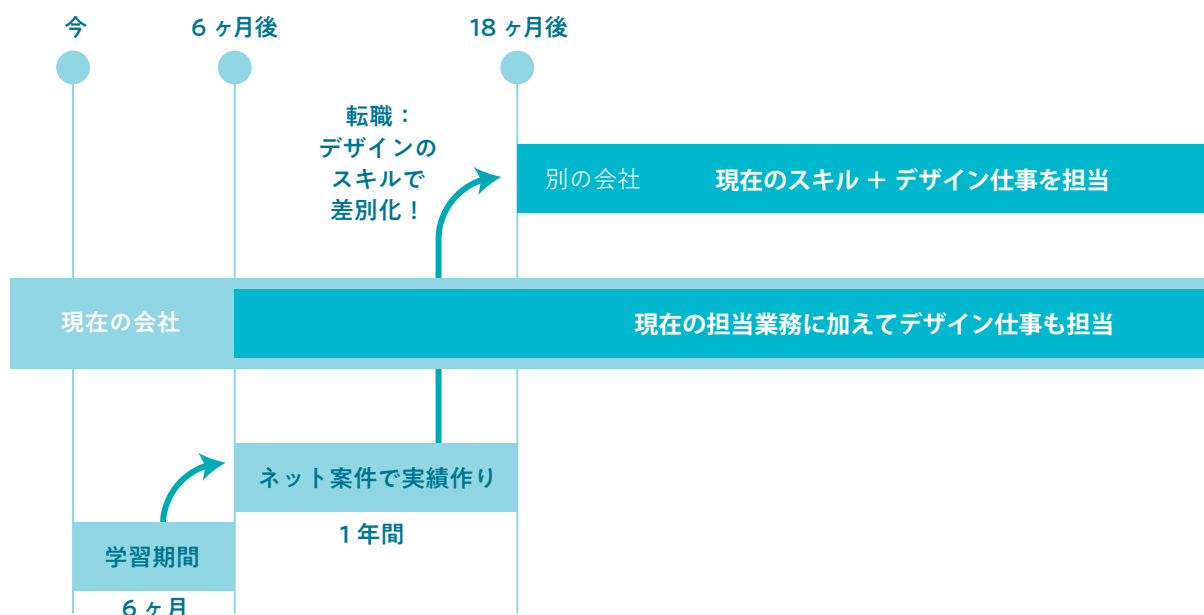
私自身、32歳の未経験からデザイナーになり、社内デザイナーとして仕事をしました。この実体験を元に必要な知識をオンライン講座としてまとめることにしました。

毎日10分程度の動画の学習と休日のデザイン制作を6ヶ月続けることでプロのデザイナーとしてスタートできる知識を実力を身につけることを目的としたオンライン講座です。

デザイナー 養成講座

世の中にはすでに「デザイナー養成講座」は山のようにあります。ところが社内デザイナーをゴールに据えたものは見たことがありません。

この講座ではデザイナーになるための知識やスキル、そしてデザイナーになってからうまく仕事をこなすための秘訣まで、実際に未経験からデザイナーになって18年の経験を元に全ての情報を公開する現実的な内容です。



坂本 裕治

2005年、33才でデザイナーになる。

デザイン事務所で居酒屋チェーン店のグランドメニュー、百貨店のリーフレット、市役所のポスターなどの案件を担当した後、飲食店などの複数の企業の社内デザイナーを経験。

2016年に独立。

2019年にYouTubeに投稿した「3倍集客したチラシ」の動画は再生回数18,000回を超える、チラシデザインの分野での人気コンテンツの一つとなっている。

主な講座内容 (動画教材 1本10分程度・計20時間)

知識

準備
デザインの基礎
仕事術
撮影 (写真・動画)

アプリ

イラストレーター
フォトショップ
アクロバット
インデザイン
動画編集 (ダビンチ)
入稿データ作成

ワークショップ

顔写真を補正する
スタンダードな名刺を作る
プライスカードを作る (ラミネート)
チラシを作る
パンフレットを作る
ポスターを作る
商品紹介動画を作る